

目標達成計画

作成日: 平成 26年 12月 16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	看取り介護をするにあたり、介護者の精神的負担も大きく、心理的側面の課題を明らかにして、ストレスケアに努める必要がある。	1、看取り介護に対する精神的負担を軽減する取り組みをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・看取り介護をするにあたり、十分な話し合いをし、職員一人一人の不安や気持ちを聴き取りしながら、安心して取り組めるように支援する。 ・入居者、家族、職員間、医療関係者の関係を良好に保つよう風通しの良い人間関係を形成する努力を続けていく。 ・看取り介護についての勉強会をする。 ※以前より勉強会をしているが、再度、不安点や技術面の確認などニーズを見ながら行う。 ・越知町主催の“こころの相談会”やストレスケアの勉強会等に参加していく。 	24ヶ月
2	2	実践を通じて積み上げてきた認知症への理解や介護方法などを地域住民へ広めていく工夫が必要である。	1、施設見学や体験学習などを積極的に受け入れ認知症の理解や介護法などを地域住民へ広めていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方へ施設行事の案内(敬老会等)をし、ホームのていく。 ・施設見学や体験学習(中学生等)を積極的に受け入れる。 ・越知町文化祭のブースで認知症について広報していく。 ※その時に認知症についての理解や接し方などの簡単なリーフレットを作成し、広報していく。 	24ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。